

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月12日(金)

事務事業		位 勲・表彰事務		担当課	教育総務課	担当係	企画調整係	管理番号	70151
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市教育委員会表彰規程				
	小項目	4	行財政運営の推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		義務教育全期間を通じて無欠席であった市立中学校の生徒の努力を称えるために、教育委員会が表彰を行うものである。また、ほう章に関する事務手続を行うものである。							
目的 ※何のために		義務教育全期間を通じて無欠席であった市立中学校の生徒及び教育振興に功績のあった方を称えることにより、教育の一層の充実と振興を図るため。							
対象 ※誰・何を対象に		義務教育全期間を通じて無欠席であった市立中学校の生徒							
手段 ※どのように		市立中学校卒業式当日に九箇年皆勤表彰を実施し、表彰状を贈る。							
成果 ※何を求めるか		義務教育全期間を通じて無欠席であった市立中学校の生徒の努力を称える。							
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・ほう章に関すること(春秋叙勲(生存者叙勲)申請、勲記伝達)					・		
		・ほう章に関すること(死亡叙勲・叙位申請、勲記・位記伝達)					・		
		・ほう章に関すること(高齢者叙勲申請、勲記伝達)					・		
		・深谷市教育委員会表彰					・		
		・九箇年皆勤表彰					・		
		・					・		

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		ほう章、表彰に関する調整	ほう章、表彰に関する調整	ほう章、表彰に関する調整	ほう章、表彰に関する調整		
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
人件費	従事職員数(人)	0.34	0.34	0.34	0.34	0.30	
	人件費相当試算※	2,675,650	2,723,457	2,795,562	2,882,212	2,642,547	
総事業費試算		2,675,650	2,723,457	2,795,562	2,882,212	2,642,547	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	九箇年皆勤表彰者数	目標値	人						
		実績値		77.00	70.00	55.00	76.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		皆勤達成者数が見込めないないため、目標値の設定はできない / 推薦書						
	実績値の算出式								
活動指標 2	叙勲叙位申請手続人数	目標値	人						
		実績値		9.00	10.00	5.00	7.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		叙勲候補者等の人数が見込めないないため、目標値の設定はできない / 手続件数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	位勲・表彰事務の誤り件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00		
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		事務を誤りなく進める必要があるため / 事務誤り件数						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	九箇年皆勤表彰者数は76人で、前年度に比べ21人増加した。また、叙位叙勲を7件申請した。 九箇年皆勤表彰事務及びほう章事務を滞りなく執行できた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	位勲・表彰事務を誤りなく執行できた。
			評価者 企画調整係長 竹内 祐子

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	叙位叙勲内申事務において、提出資料に係る埼玉県との校正事務については、メールを用いて効率的に行った。
			評価者 企画調整係長 竹内 祐子